

科目名(単位数)		対象年次	履修	期別	必要面接時数	レポート数	
社会と情報（2）		原則3年次	必修	通年	4	4	
科目の概要	情報社会に参画するに当たって身に付けておかねばならない知識や技術を学習する科目です。これは、コンピュータやソフトウェアの操作を覚えることをさすわけではありません。						
科目の目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に参画する態度を育てる。						
	学習内容	到達目標			スクリーニング 回	レポート 回	試験 範囲
年間学習計画・学習のねらい	情報と情報社会	・授業に興味を持って参加しようとしている。 ・データ、情報、知識の違いを理解できる。 ・情報化の光と影について理解し、正しく判断できる。			1	1	前期
	ネットワークとコミュニケーション	・コミュニケーションの各種の分類や形態を理解できる。 ・目的に応じて、電子メール、電子掲示板、ブログ、SNSなどのコミュニケーションツールを適切に利用することができる。			2	2	
	アナログとデジタル	・アナログとデジタルの概念とその相違を理解している。 ・アナログ音声をデジタル化する仕組みを理解している。 ・データ送受信における圧縮の種類と仕組みを理解している。			3	3	後期
	問題解決	・問題を明確化して解決への手順を示せる。 ・問題解決のための情報収集やアイデア収集・分類の手法を理解している。			4	4	
評価方法	年度末の成績評価は、下記のとおり行う。 スクリーニング時の態度15％ レポートの得点50％ 前後期試験の得点35％						
単位修得	スクリーニング：年間4回出席すること。学習意欲、学習に対する姿勢など レポート：前期2枚、後期2枚提出し、合格すること。 試験：前期・後期試験を受けること。						
使用教科書等		実教出版株式会社 『高校 社会と情報 新訂版』 岡本敏雄 山極 隆 著					
学習上の留意点		教科書をよく読み、レポート、試験ともに丁寧に解答する。乱雑な書き方では採点されないこともあります。					